

藤里町太陽光発電導入事業 三施設電気使用量の推移

東日本大震災の後、災害に強い街づくりのため、平成25年度に太陽光発電と蓄電池に関しては、100%補助された大変有利な補助制度であります。

環境省のGND（グリーンニューディール）事業を活用し、藤里町内三施設へ太陽光発電・蓄電設備を導入しました。

大震災等災害時、停電が長時間に及ぶ場合、この三施設においては、5kwhの蓄電池と太陽光発電により、電源を供給することができます。通常時は、太陽光発電した電気を蓄電池へためて、余った分を施設で消費します。

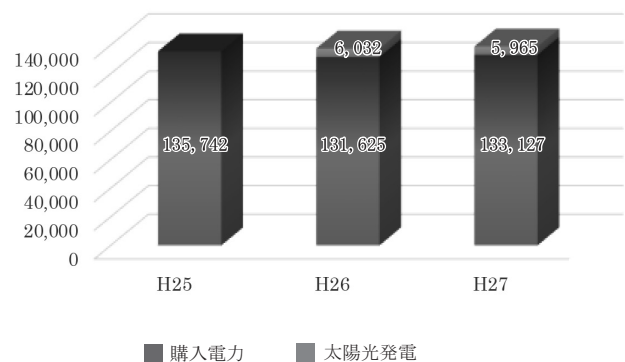
太陽光発電導入から2年が経過し、太陽光発電導入前（H25）と導入後（H26・27）で電気使用量がどのように変化したかを検証いたしました。

①三世代交流館

(単位：kwh)

	年間使用量	月平均
H25	135,742	11,311
H26	131,625	10,968
H27	133,127	11,093
H25比増減H26	▲4,117	▲343
H25比増減H27	▲2,615	▲217
H26太陽光発電分	6,032	502
H27太陽光発電分	5,965	497

三世代交流館電気使用状況



三世代交流館の電気使用状況は、平成25年度に比べ、平成26年度4,117kwh、平成27年度は2,615kwh減少しています。

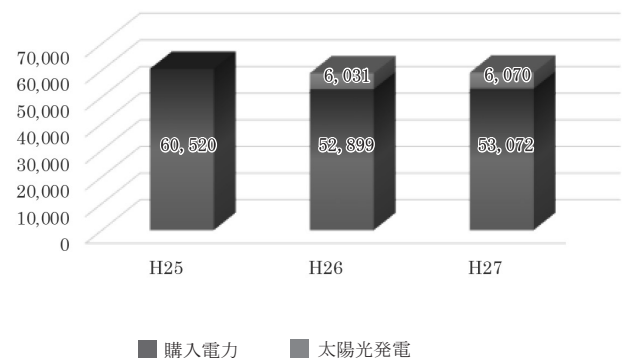
これは、太陽光で、6,032kwh、5,965kwh発電されたことで、減少したものと分析され、省電力化へ貢献しております。

②藤里小学校

(単位：kwh)

	年間使用量	月平均
H25	60,520	5,043
H26	52,899	4,408
H27	53,072	4,422
H25比増減H26	▲7,621	▲635
H25比増減H27	▲7,448	▲620
H26太陽光発電分	6,031	502
H27太陽光発電分	6,070	505

藤里小学校電気使用状況



藤里小学校の電気使用状況は、平成25年度に比べ、平成26年度7,621kwh、平成27年度7,448kwh減少しています。

これは、太陽光で6,031kwh、6,070kwh発電されたことで、減少したものと分析されます。

施設規模が三世代交流館の約半分なので、倍以上省電力化へ貢献しております。